

選択A：歴史

【時間・コマ数】

週2日、10：00-11：50、全32コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

6人～10人×1～2クラス

【到達目標】

・歴史学を専門とする大学院生が、今後、研究者として、日本語を使って研究活動ができるような日本語能力を身につけること。

・すなわち、以下のような能力を身につけること。

必要な史料・論文を探して入手でき、それらを読みこなせる。

各種の学会・研究会・シンポジウム・大学のゼミ等に参加して、日本語の講演・発表を聞いたり、あるいは自ら発表できる、質疑応答や討論に参加できる、日本人研究者と交流がはかれる、等。

【授業概要】

学生の専門、研究テーマに合わせて、一次史料、および専門書・学術雑誌・論文の読解を中心に、発表、ディスカッションなども行う。

また、図書館、資料館を訪問し、資料の探し方なども経験する。

【授業テーマ・内容】

第1週：各学生の研究テーマ発表

第2週：「教育勅語」原文、田中彰「教育勅語とはなにか」

第3週以降：各学生の研究テーマに合わせた一次史料、及び学術書・論文の読解、発表、ディスカッション等

教材例（昨年度実績）

『米欧回覧実記』『曲亭馬琴日記』『続日本紀』『日本靈異記』

森林太郎『衛生學大意』緒言

田中彰『明治維新と西洋文明』

山崎渾子『岩倉使節団における宗教問題』

山崎善弘『徳川社会の底力』

新村拓『健康の社会史』

森田直子『感情史の現在』 等

校外学習：横浜市中央図書館、国会図書館、国立公文書館、等を訪問。各自の資料検索。

以上